| 授業科目名・形態 | 介護過程Ⅴ　　講義 | 必修・選択の別 | 選択 | 単位数 | 2 |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目担当者氏名 | 今野　修 | 実務経験の有無 | 有 | 開講期 | 3 年前期 |
| 科目ナンバリング | W4-3042c | | | | |

**【授業の主題】**

本人の望む生活の実現に向けて、利用者の思いを汲み取り、様々なアセスメントツールを使用した生活課題の分析を行い、さらに根拠に基づく介護実践を伴う課題解決の思考過程を学習する。また，介護実習で学んだ知識や経験を活かした介護過程を展開し、個別で考えた介護サービス計画に基づく利用者主体の介護サービスが提供できる能力を養うことを目的とする。

**【到達目標】**

1）ケアマネジメントと介護過程の連動性と，それを行うためのチームアプローチの必要性を理解することができる。
2）介護過程に使用される様々なアセスメントツールを理解することができる。
3）生活支援の意味を理解した上で、クライエントの思いに沿った個別援助計画が作成できる。

**【授業計画・内容】**

第１回　ケアマネジメントと介護過程，介護過程とチームアプローチ
第２回　ストレングス理論を用いた介護過程展開
第３回　生活７領域を用いた介護過程展開
第４回　センター方式シートを用いた介護過程展開
第５回　ひもときシートを用いた介護過程展開
第６回　居宅サービス計画ガイドライン方式，包括的自立支援プログラム方式，ケアマネジメント実践記録様式を用いた介護過程展開
第７回　日本訪問看護振興財団方式を用いた介護過程展開
第８回　ＫＯＭＩチャート理論，ＭＤＳ‐ＨＣ方式，スピリチュアルアセスメント用紙を用いた介護過程展開
第９回　個別事例で考える介護過程の展開①(演習)
第 10 回　個別事例で考える介護過程の展開②(演習)
第 11 回　個別事例で考える介護過程の展開③(演習)
第 12 回　個別事例で考える介護過程の展開④(演習)
第 13 回　個別事例で考える介護過程の展開⑤(演習)
第 14 回　個別事例で考える介護過程の展開⑥(演習)
第 15 回　個別事例で考える介護過程の展開⑦(演習)

**【授業実施方法】**

基本的に演習形式で行うので，主体的に取り組んでください。また，第 10 回目以降は個人での課題学習とその成果を発表してもらいます。そして，介護実習での学びの振り返りを，ここでの発表で可視化できるように臨んでください。

**【事前・事後学習】**

講義内容を踏まえ，予習および復習を毎回 30 分以上行うこと。

**【主な関連する科目】**

介護総合演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ，介護過程Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ，介護実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

**【教科書等】**

最新・介護福祉士養成講座９　介護過程，中央法規出版.

**【参考文献】**

森繁樹：事例で読み解く介護過程の展開，中央法規，2015.

**【成績評価方法】**

課題レポートおよび演習態度等による総合的評価

**【実務経験及び実務を活かした授業内容】**

病院等で多くの高齢者への看護の経験を積んできました。その経験を生かして、医療職と連携して介護福祉士の専門性が発揮できるための様々な学びを一緒に行っていきたいと思います。

**【学生へのメッセージ】**

介護過程とは，系統的で理論的根拠を持った課題解決のための思考過程であることを一緒に学んでいきましょう。